

大阪発！防災・減災技術でインドネシアの未来を守る インドネシア技術者が日本のインフラ整備における地質調査技術を視察

インドネシアでは、複雑な地質状況に対応する調査技術が未成熟なことから、道路を含む構造物設計の課題により地すべり、斜面崩壊、地盤沈下などが多発しています。特に高速道路網拡大に伴い軟弱地盤での工事が増え、事態は深刻さを増しています。このため、大阪市に拠点を置くハイテック株式会社の持つ良質な地質試料採取技術であるハイブリッドボーリング工法の活用を目指し、JICA「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」による調査を実施しています。

今般、インドネシア公共事業住宅省道路橋梁技術局やインドネシア地盤工学会、バンドン工科大学等の技術者や有識者が来日し、同社の技術を導入した建設現場の視察等を行います。

ハイテック株式会社は、防災・減災・国土強靱化を目的とする地質・地盤調査、水文・環境調査、インフラ構造物保全調査を実施している大阪市の中小企業です。独自のボーリング工法を駆使し、「地球の HOME DOCTOR」として地域社会への貢献を目指しており、今年発生した能登半島地震の復旧・復興においても多くの地質調査に携わっています。インドネシア、中国、ベトナムなど外国人材も積極的に採用し、技術の伝承と「人財育成」にも力を入れています。

以下日程でインフラ施設の視察と技術者との意見交換を行い、軟弱地盤における同社の工法の活用状況と重要性の認識を深めてもらう予定です。

インドネシア関係者やハイテック社へのインタビューなど、ぜひ取材をご検討ください。

※一部事前確認が必要なため、下記問い合わせ先に取材希望を事前にご連絡ください。

<日程>

日付	予定	場所
8/25 (日)	午後：研修の概要、ハイテック社の技術にかかる説明	ハイテック株式会社：大阪市
8/26 (月)	午前：ハイブリッド工法の活用現場紹介（講義・討議）	関西電力株式会社：大阪市
	午後：室内試験の見学（講義・討議）	関西地盤環境研究センター： 摂津市
8/27 (火)	午前：大滝ダムの概要及び周辺地すべり対策（講義・討議）	紀の川ダム統合管理事務所： 奈良県五條市
	午後：ハイブリッド工法を活用した地すべり対策現場視察	大滝ダム：奈良県吉野郡
8/28 (水)	午前：高速道路の地質調査/橋梁建設における地盤調査の重要性（講義・討議）	西日本高速道路株式会社： 大阪市
8/29 (木)	午後：地盤調査における室内試験方法の活用（講義・討議）、最新関連施設の見学	日本工営株式会社： 茨城県つくば市
8/30 (金)	午後：斜面对策における地盤調査の活用（講義・討議）、関連資機材の見学	日特建設株式会社： 埼玉県蓮田市

中小企業・SDGs ビジネス支援事業とは

日本の政府開発援助（ODA）を通じて JICA が築いてきた開発途上国政府とのネットワークや信頼関係、ノウハウ等を活用し、開発途上国の開発課題に貢献する日本の民間企業等のビジネスづくりを支援する事業です。

https://www.jica.go.jp/activities/schemes/priv_partner/activities/sme/index.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 企業連携課 村里咲良

TEL 078-261-0397 e-mail Murasato.Sakura@jica.go.jp